

「マルセ喜劇」出演、あっとゆうまの四作目。こんなにドキドキ、生き生きした稽古場はまずありません。お茶タイムのダンゴがこれまたカクベツ！



維田修二

1961年俳優座養成所10期生卒業後、劇団 新人会 入団。解散後、田中千禾夫、渡辺美佐子らと演劇集団「兆」結成に参加。同解散後フリー。

【出演作品】

千田是也演出作品（プレヒト作品他） 田中千禾夫作・演出作品。
観世栄夫演出作品。別役実作品（企画「66」）等、舞台出演多数。



にしだまちこ

すてきな台詞がいっぱい詰まっているこの作品に出会えて本当によかったがや。稽古が進むにつれて、この子（健）の母親であることの幸せを感じています。

1973年演劇集団「ぐるーぷえいと」結成から1993年、解散まで主に舞台活動。その後舞台活動に関してはフリーで他集団に参加。

【主な出演作品】

ぐるーぷえいと「わが町」女の声「塩祝申そう・鯉群（第23回紀伊國屋演劇賞団体賞）池キナセ企画「みろく万祝いうた」演劇集団「夜の樹」「つめくさの花の数列の果て」他テレビ等に出演。



松岡文雄

日大芸術学部卒

映画助監督を経て劇団「葦」解散まで在籍、現在プロダクション「バオバブ」所属

主な出演作品

菊田一夫演出「人間の条件（東宝） 早野寿朗演出「暗黒の男たち」

キ・トール演出「我が青春のマリアンヌ」 藤田伝演出「鬼無鬼島」

藤原新平演出「アトリエ」夜明の街」 野田雄司演出「礼服」

マルセカンパニー「黄昏に踊る」「枯れない人々」「真夏の夜の哀しみ」「役者の仕事」等



斉藤昌子

去年この芝居の上演中、私は癌で入院中でした。

命を延ばしてくれた主治医はマルセさんの甥御さんです。

そして今、こうして生きています。

俳優座養成所二期生。TBS放送劇団一期生。のち俳優小劇場、劇団俳小を経て現在に至る。

【主な出演作品】

ギイ・フォウシー「ファンファーレをまちながら」相寄る魂」他多数。

ニールサイモン「裸足で散歩（ロングランシアター）」

岩波新書より「あの人をはかえて来なかった（昭和51年度芸術祭優秀賞受賞）」

マルセカンパニー「黄昏に踊る」「つかめ荘は今日もワルツ」「枯れない人々」「役者の仕事」



マルセ太郎

大阪生まれ。1954年、上京。マルセル・マルソーの舞台を見てパントマイムに興味を持ち、彼の名になんでマルセ太郎と命名。1956年、日劇ミュージックホールにて、パントマイムでデビュー。その後コント活動を経て、動物の形態模写を中心に浅草の演芸場に出演。特にサル形態模写はその迫真力で圧倒。1984年、映画「泥の河」をきっかけに映画再現芸というまったく新しいジャンルを開拓。1本の映画の最初から最後まで語り尽くす一人芸である。“スクリーンのない映画館”として公演、各界から絶賛され、そのレパートリーは10数本に及ぶ。1991年、講談社より「芸人魂」を出版。1993年より、「黄昏に踊る」と題して老人に視点を置いた喜劇を書き下ろし、自ら演出・出演し話題となる。（これまでに4作品上演）1994年6月、NHK教育テレビの「芸術劇場」で「泥の河」を放送。1996年6月、NHKテレビ（BS2）でドキュメンタリー「生き様を演じる」～マルセ太郎の芸人魂～を放送。現在は「肝臓癌」と闘いながらも全国各地で公演活動を展開する。98年、講談社より「奇病の人」を出版。

マルセ太郎のホームページ サイバーマルセ太郎中毒患者の会

マルセ太郎メーリングリスト (t-toraji@ra2.so-net.ne.jp宛にメール下さい。)



ここから先はのぞいて
みなくちゃ解らない！

さあ！君も勇気を出してクリックしてみよう

<http://www02.so-net.or.jp/maruse/index.html>



この芝居に出られてとっても幸せ。この幸せをあなたにも分けて上げたい。
どうぞ、お持ち帰り下さい。

劇団テアトル・エコー所属。

【主な出演作品】

テアトル・エコー「バレルぞ！急げ！『男の中の男』

葦の会プロデュース「アルペド0.999」『遙か遠き果てにー二つの祖国』

池田屋企画「鷹の玉座」『アロイス』

米山企画「十二人の正しい内閣」

川田 栄



僕は石になりたい、動かんでいい、そして地上から小さな信号を送るんだ！
星になったおかあさんへ

秋田県出身。ホンダスタジオを経て唐組旗揚げメンバー。

【主な出演作品】

映画「我が人生最悪の時」二十世紀少年読本 林海像監督

「さすらいのジェニー」(唐十郎・作演出 / 浅草下町唐座)、「少女都市からの呼び声」(唐十郎作

演出 / 浅草下町唐座)、「毛皮のマリー」(寺山修司作 / 渋谷ジャンジャン)、「ベニス商人・壱

ちもおちたり」(横沢彪演出 / 銀座セゾン劇場)、「幕末太陽伝」(河毛俊作作・演出 / 銀座セゾン

劇場)、「真夏の夜の哀しみ」花咲く家の物語'97 (マルセ太郎作・演出 / 渋谷ジャンジャン)。

藤原常吉



最近、いいものを見ると、心臓のところのあたりがカサブタをはがされて、
指で触られてる感じになります。なる？

1970年生まれ。千葉県出身。

[主な舞台出演]

1996年「イーハトーボの音楽劇 銀河鉄道の夜」青山劇場

「下北ピートニクス」ナイロン100° C

1997年「レッツゴー浪曲！」グループ・ばる

「機械仕掛けのフウリン」マジックマッシュルーム

「CINQ(サンク)」マジックマッシュルーム

瓜生和成



私、マルセさんを観て芝居はじめたんです。

嘘でも ヨイショでもありません。本気(マジ)です。

1963年山形県天童市生まれ

[主な舞台出演]

グリマンデルと工事現場2号公演「山とビルディング」『グリル工場』『グリーン』『CUT』『vivid』

「トライアングルマイナスイチ」

俺と兄貴事務所プロデュース公演「銀幕破りのマサ」『大盛』『米の歌』『銀幕破り』

シティーボーイズライブ「ゴム脳市場」グリマンデルソロライブ「グリまみれ」

他テレビ、ビデオ等出演

グリマンデル



イランの「桜桃の味」という映画の中で、自殺志願の男にトルコ人の老人が
云います。「お前さんの見ている世界はきっと別の世界だ。お前さん自身の見方を変え
れば、この世は美しい」

金沢のとある一家がこんなに生き生きとしてみえるのは、見ている人の目がそうさせ
ているのでしょう。「花咲く家の物語」の味は一度味わったら忘れられませんよ。

梨花

東京都出身のアジアンジブシー。旅の話を中心にしたライブ、「バクシーシ放浪記」を不定期に
行っている。



また、若草の皆に会うことができました。。

うれしいです。

東京都千代田区出身。番衆プロを経てフリー。

【主な舞台】

「ヴァニティーズ」『虎』

「ガールフレンド」(自転車キンクリート)

「黄昏に踊る」『つるかめ荘は今日もワルツ』真夏の夜の哀しみ (マルセカンパニー)

松山 薫



若草の家

出演
 杉田陽子 お母さん 矢野陽子
 杉田正彦 お父さん 狭間鉄
 勝(まさる)くん 永井寛孝
 耕治(こうじ)くん 藤原常吉
 吉村(よしむら)くん 川田 栄
 健(たけし)くん 浅地直樹
 春男(はるお)くん グリマンデル
 博(ひろし)くん 瓜生和成
 杉田 歩 梨花
 根本さん 維田修二
 百合子さん 松山薫
 元山奈緒子 にしだまちこ
 山田美津江 斉藤昌子
 山田さん 松岡文雄
 マルセ太郎 マルセ太郎



若人の家

出演者の一言&プロフィール その1

今年もたくさんの子供たちに「お母ちゃん」と言われてうれしい。「お母ちゃん」に、
また新しい命を吹き込んで明るく元気に生きます。



矢野陽子

1973年演劇集団「ぐるーぶえいと」結成。舞台を中心に活動。1993年「ぐるーぶえいと」解散後フリー。

【主な出演作品】

ソートーン・ワイルダー作・早野寿郎演出「わが町」。真船豊作・塩見龍介演出「鮎」。川崎照代作・藤原新平演出「塩祝申そう」「鯉群」「港の風」三部作。進藤兼人作・藤原新平演出「女の声」。有吉佐和子作・藤原新平演出「山彦ものがたり」シンガポール公演。マルセ太郎作・演出「黄昏に踊る」「つるかめ荘は今日もワルツ」「枯れない人々」「真夏の夜の哀しみ」。

特別にならないようにさりげなく当たり前に演じてみようと思っています。



狭間鉄

東京都出身。劇団青俳 劇団解散後フリー。1983年、方の会結成

【主な出演作品】

「さすらいよあれがボクの風だ」「牙ただ一撃の非情を生きよ」岡部耕太作・演出
「マクベス」シェークスピア作・串田和美演出 オンシアター自由劇場
「タイム」渡辺えり子作・演出
「クロッシング」小牧章子作・演出「天と地と」ツトム ヤマシタ作・演出(青山劇場オープニング公演)
「朝、君汽庫に乗る」小松幹生作・加藤新吉演出「病氣」別役実作・野田雄司演出
「東京物語」竹内銃一郎作・原田一樹演出「しんしゃく源氏物語」神原政常作・原田一樹演出「犬のいる庭」原田一樹作・演出「スペアリブ」高野香津巳作・原田一樹演出
「いつか静かに眠る夜は」永妻景作・原田一樹演出

今年も太鼓をたたきます。『初心忘るべからず』ですから、上手にならないように
苦勞しました。天までとどけ勝の太鼓！！



永井寛孝

愛知県。知多半島出身。1978年から劇団テアトル・エコー在団。1989年退団後、プロダクション・プライムワンを経て92年、フリーとなる。俳優、時には脚本家、はたまた演出家として舞台を中心に活躍。1988年よりオリジナル歌芝居集団「おっ、べれった」を結成、小劇場ミュージカル公演をそおっとと継続中。第二弾公演の劇中歌「納豆をおいしく食べるには」は「ひらけ！ポンキッキ」(現ポンキッキーズ)で放送されCD・ビデオ等になり納豆の普及に一役買った(?)。マルセ作品には一作目からしつこく参加。(本人筆)

今年も新しい花が咲きました。これからも咲き続けるように！！再演できる喜びと
恐さをかみしめながら、今年の花をより深く、新鮮に咲かせたいと思います。



浅地直樹

文学座所属。

【主な出演作品】

グローブ座カンパニー「夏の夜の夢」「ロミオとジュリエット」。アクターズ・ハウス「金色夜叉」。シェークスピア・カンパニー「ハムレット」。東京芸術プロジェクト「山彦ものがたり」。クレイン・リバー・ワークショップ「じゃじゃ馬ならし」。タイタニック・プロジェクト「タイタニック号の沈没」。みなと座「女相撲」「セカンドカンパニー」「小夜曲」。「わが町」
文学座「好色一代男」「好色一代女」「ザ・ボーイズ」「特ダネ狂騒曲」「雨が空から降れば」

さるさる

発行：全国マルセ太郎中毒患者会

編集責任者 立木 寅児

〒201東京都狹江市岩戸北1-7-9

協力：(株)プロダクション人カ舎

TEL:03-3430-7328 FAX:03-3430-7531

E-mail:t-toraji@ra2.so-net.or.jp

発行所：スタジオBeフリー

花咲く家の物語'98

マルセ太郎喜劇プロデュース VOL.7

この芝居は、石川県金沢市に実際にあった「若人の家」をモデルにしたものである。

昨年四月二二日、ゆかりの金沢で最初の幕を開けたときは忘れられない。導入の場のうちから、予想をはるかにこえた反応が客席から伝わってきた。どっと起きる爆笑。暗転の間の拍手。カーテンコールでは、劇場内に熱い空気が満ち、招待した若人の家の家族を舞台上に上げたとき、観客の拍手は一層きわまつたのである。

それから富山、福井など七つの都市をまわり、どこでも笑いと感動の渦がうまつた。公演の最中から早くも引き合いが相次ぎ、今年も五月から六月にかけて、十カ所の都市をまわることになっている。おそらく来年も再来年も、どこかで「花咲く家の物語」を公演してまわるだろうと予感している。幸福なことである。若人の家のお母さん、故小杉康子さんの霊に、この芝居を捧げる。

マルセ太郎

作・演出 / マルセ太郎
協力 / 小杉孝志

【スタッフ】

- 照明・・・日高勝彦
- 音響・・・是安房雄
- 舞台美術・・・河井妙子
- 舞台監督・・・富川孝
- 宣伝美術・・・花本彰
- 太鼓指導・・・富田和明
- 太鼓協力・・・浅野太鼓楽器店
- 制作・・・マルセカンパニー

「人間の目はいくつある？
...二つじゃいけん、四つにせんと」
花咲く家の住人の真剣で新鮮で
可笑しくて感動的な1ページ
「...わち、なやんどる！」

